

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏名	M.K.	学部・学科	国際教養学部 国際教養学科教養学系
学年	2年	派遣国	韓国
派遣大学	仁川大学校		
プログラム名	第2Qプログラム		
期間	2024年6月22日～ 2024年7月12日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

1日3時間半程度の授業が週4日あり、クラスは参加者の韓国語レベルに応じて初級クラスか中級クラスに振り分けられていました。私は中級クラスだったので、中級クラスの授業の様子などを説明します。

授業は最初に配られた教科書を使い進められました。教科書には10個の単元があり、基本的に1日の授業で1つの単元という形でした。10個の単元一つ一つにテーマがあります。(①余暇活動(趣味) ②紛失 ③経済活動 ④習慣 ⑤ミスや間違い ⑥交換や返金 ⑦人生 ⑧健康 ⑨引っ越し ⑩社会活動)

授業の流れとしては、まず初めにこれらのテーマに関する単語や表現を学びます。その際知らない単語やよくわからない単語があれば先生に聞くことができます。次にそのテーマに関する韓国語の対話を聞き、対話の内容や文法を理解していきます。(②紛失だったら、財布を無くした女性がホテルに問い合わせをしている場面でのフロントの男性との対話)その後、2人組になって教科書の例文を読む演習を行い、読み方や発音の練習をします。最後に2人組か3人組で、その単元で学んだ文法や単語を使って自分たちで対話を作成し発表することで実践的な文法の使い方を学びます。これらが1日の授業内で行う流れです。

授業中は全て韓国語で進められ、分からない単語を先生が英語で代用して説明するということもありませんでした。そのため、分からない単語があれば先生に聞くか、自分で翻訳アプリ、辞書などを使い理解していく必要がありました。また、基本的な文法や発音規則から学んでいく初級クラスに比べ、中級クラスは最初から応用的な文法を学んでいくためついていくのが少し難しいと感じました。しかし、次の日に行う単元が分かっているため、前日に予習しておくことで、かなり授業内での単語や先生の説明の理解が深まり効果的だったと感じます。

上記の授業に加えて韓国文化体験発表が一人ずつ課されていました。これは韓国の文化に関するテーマを設定し、それについて画像や映像を見せながら約1、2分の発表を行うものです。私は好きな韓国ドラマについて発表しましたが、他の人は好きなK-POPグループや、期間中に訪れた地域や場所について発表していました。

課題は1日に1つ出されるというわけではなく、3週間の期間で計5個の課題が課され最終日まで先生にe-mailで提出するという形でした。①録音(1) ②録音(2) (授業内で作

った対話の録音) ③文化体験発表文 ④討論文 (最後のパート 10 の授業内で行った社会問題についての討論の台本) ⑤3 週間の授業を通しての感想文

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500 字程度)

3 週間の授業を受けて、主に 2 つの知識等が得られたと考えます。

1 つ目は、韓国語の文法や単語、表現です。これは韓国留学をし、授業を受ければ確実に得られることですが、留学前に私が想像していたより多くのことを学べたと感じます。授業で使用した教科書が(1)で記載したように単元が 10 個の異なるテーマから成っていたので、それらのテーマに関する単語を幅広く学ぶことができました。また、そのテーマに関することわざなども学ぶことができ、今後もっと勉強して身に染みつけていけば、より実践的な表現を使うことができると思いました。

2 つ目は、韓国文化です。それぞれのテーマに沿いながら単元を学ぶ上で、韓国ならではの特徴的な文化や日本との違い、逆に日本と似たような文化があることなどを学ぶこともできました。例えば、日本には「ため息をすると福が逃げる」というようなおばあちゃんのお知恵や迷信のようなものがありますが、韓国にも同じように「貧乏ゆすりをする福が逃げる」や「ご飯を少しずつ気だるげに食べたら福が逃げる」というような言い伝えがあるそうです。動作は違えど同じような内容を言い伝える迷信があるのだと驚いたので印象に残っています。また、このような韓国文化を学ぶと同時に、他のタイ人やチェコ人の参加者からもその国に関する文化を聞くこともでき貴重な体験だったと感じます。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように (気持ちなどが) 変化したか。(400 字程度)

授業を受ける前は、横市で第 2 外国語として韓国語を勉強していたし K-POP をはじめとした韓国の大衆文化や韓国料理も好きだから韓国留学行ってみようかな、韓国を満喫した上で韓国語もちょっとできるようになれば良いなという、今考えてみると少し軽い気持ちだったと思います。しかし、実際に留学に行ってみて、日本人の参加者もいますが、他国から来た他の参加者や、バディとして生活のサポートをしてくれる韓国人学生、クラスの担任の先生とは英語や韓国語を使って意思疎通をとらなければならないという状況下において、言語の大切さや面白さに気づくことができました。自分が今伝えたい事や感情、ちょっとした冗談などを伝えられないもどかしさや逆に相手が伝えようとしていることを理解できない申し訳なさや悔しさなどを期間中に多く感じ、もっと勉強しなければならないと強く感じました。また、韓国語だけでなく英語、さらに授業や活動を通して親しくなったタイ人のタイ語なども学んでみたいと思うきっかけになりました。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300 字程度)

私は今後、今回の留学で学んだことを忘れずに英語や韓国語の勉強を継続していきたいと考えています。そのための講義をとるのはもちろん、独学でも単語や表現などを進んで学んでいきたいと思います。また、上記したようにタイ語など他の言語にも触れていきたいです。さらには、今回自分が留学生となったことで得ることができた経験などを活かし、留学生支援の活動や横市に来る留学生のチューターなどの活動を行うことも考えています。今回の留学で、思っていたより多くの学びや考えを得ることができ、これからの進路や将来を決めていく上で重要な経験となるであろう貴重なプログラムに参加することができて良かったです。